

配分額きまる

漁業補償と融資金

水俣病

水俣病による漁業補償金ならびに融資の配分をめぐる熊本県漁連第七部会（会長北垣不二夫氏）の各

を組合員におくり、残額は単位漁協の基金にあてたいとの意向が強かった。

単協長会議は、二十四日から二十五日にかけて熊本市光琳寺町まんじ荘でひらき、総額千六百八十七万円の配分を次のとおり決めた。なお会議では組合員に配分しても、零細な額しかないので、三分の一

▽姫戸二一〇（単位万円）▽高戸一六〇▽極島四二〇▽大道二四〇▽御所浦二四七▽嵐口一七〇▽棚底二三〇▽宮田九〇▽桧本二〇。